

道央広域連携地域政策展開方針の推進状況(R7)について

- 1 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト
- 2 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
- 3 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト
- 4 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

令和8年度
北海道空知総合振興局

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・石狩地域・後志地域・胆振地域）

目的 日本遺産認定から、PR資材の整備やガイドの育成、地元への周知活動によるシビックプライドの醸成などを行うことで、知名度向上はもとより、協力事業者の拡大など着実に推進体制を充実させてきた。

これらの資産を活かし、様々な主体と連携しながらプレミアム旅行商品の造成や関連商品・サービスの開発などインバウンドも見据えた稼ぎの仕組みに磨きをかけるとともに、スルーガイドの育成をはじめとした、地域のプレイヤー育成を継続し、交流人口の拡大と雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めしフェスタの開催 [振興局]

開催日：①令和7年9月6日～7日

②令和7年9月13日～14日

場 所：①道の駅あびらD51ステーション

②岩見沢駅東市民広場公園

概 要：①「安平町炭鉄港記念イベント」及び

②「いわみざわ情熱フェスティバル」において炭鉄港めしブースを開設。



■ 炭鉄港共通サイン看板の制作 [振興局]

概 要：観光客の利便性向上及び日本遺産への理解促進のため、構成文化財を紹介する共通デザインの看板を制作・設置。

場 所：計12か所

（夕張市3か所、美唄市3か所、江別市2か所、三笠市2か所、月形町1か所、沼田町1か所）



プレート型 バス停型

■ 炭鉄港アートプロジェクト2025の実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和7年9月20日～10月13日

場 所：赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設

概 要：アートをきっかけとした炭鉄港の認知度向上及び魅力発信のため、住友赤平炭鉱立坑櫓等を会場に、アート作品の展示、ライブパフォーマンス、学生によるワークショップ等を実施（約800名来場）。



■ 炭鉄港ガイド付きミニツアーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和7年4月26日、9月6日、9月14日、9月27日、10月25日

場 所：美唄駅、追分駅、岩見沢駅、東室蘭駅、小樽駅

概 要：炭鉄港の認知度向上を図ることを目的に、JRヘルシーウォーキングイベントウォークに合わせ、炭鉄港構成文化財や関連施設を巡るガイド付きミニツアーを実施。



評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数	16,427千人（R5）	集計中（R7）	16,920千人（R11）	— %

R8年度の主な取組予定

■ 各市町で集中的にイベントを開催する炭鉄港3-DAYSの実施 [炭鉄港推進協議会]

■ 炭鉄港サポーター制度の構築及び研修等の実施 [炭鉄港推進協議会]

■ 知的財産を生かした地域ブランディング及びインフラツアーの実施 [振興局]

一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 空知農業が食料安全保障の強化に最大限貢献しながら持続的に発展していけるようＩＣＴ等の先端技術やカーボンクレジットなど環境に配慮した取組を積極的に取り入れつつ、農業生産基盤の整備など「土づくり」を進めるとともに、地域を牽引するリーダーの育成など「人づくり」を進めるほか、空知産農産物のブランド化を推進していく。

併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致を促進し、さらなる産業の振興に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ 空知プロジェクト（土づくり・人づくり）の取組

概要 水田政策の見直しや農産物の生産性向上、生産者の高齢化等による担い手の減少を踏まえ、空知農業・農村の持続的発展に向け、「土づくり」「人づくり」に焦点を当てた空知プロジェクトの取組を行った。



■ 発見！そらちのいっぴん 空知うまいものフェアの開催 [振興局]

開催日：①令和8年2月18日～2月24日

場所：北海道どさんこプラザ札幌店

概要：空知管内の特産品のPR及び販路拡大のため、店舗特設コーナーでの販売や、イートインコーナーでのフェア商品の提供、管内事業者と連携し空知ワインなどの対面販売等を実施



■ 北海道そらちビジネスガイドブックの作成 [振興局]

概要：道内外の企業による空知管内への投資（工場立地など）や管内企業との取引を検討する際の参考資料として、企業情報をまとめたガイドブック（30社掲載）を作成。



■ 空知ワインアカデミーの開催 [振興局]

開催日：①令和7年5月29日②令和7年12月23日③令和8年2月26日

場所：①オンライン ②岩見沢市 ③岩見沢市

概要：ぶどう栽培やワイン醸造技術向上を図るとともに、生産者、研究機関等のコミュニティを構築する勉強会を開催。



評価指標（KPI）

基準値（基準年）

実績値（実績年）

目標値（目標年）

進捗率

空知の耕作面積の維持

113,500ha（R5）

113,500ha（R7）

113,500ha（R11）

100.0%

R 8 年度の主な取組予定

- AI 技術を活用した新たな地域農業の推進 [振興局]
- 「空知ワイン」PR冊子の作成・スタンプラリーの実施 [振興局]
- 飲食事業者向けワインセミナーの開催 [振興局]

「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的

空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有しており、また近年は、国内外のアドベンチャートラベルへの機運の高まりを追い風に、豊かな自然への関心も高まっている。

こうした状況を踏まえ、引き続き、積極的な「空知」の魅力発信やPR 活動を実施するとともに、食の魅力を活かした観光の振興を図り、空知ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進する。

これまでの主な取組・成果

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]

概要：「そらち・デ・ビュー」やSNSにより、空知の様々な情報や魅力を発信し、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。
ウェブサイトのPV数：約36万回（R7年度）



- 第1回そらちオータムフェスティバルの開催 [振興局・市町]

開催日：令和7年10月13日（月・祝）
場所：駅東市民広場イベントホール赤れんが
概要：道内外の観光客に対して、空知の「食」と「お酒」を一堂に会したイベントを開催。
そらち応援大使を務める鈴井貴之氏とそらち食の応援アンバサダーを務める佐藤麻美氏とともに、空知の魅力を発信。
来場者：約10,000名（目標：5,000名）



- 『「そらち食の応援アンバサダー」佐藤麻美と行く！晩秋の南そらちバスツアー』の開催 [振興局・市町]

開催日：令和7年11月22日（土）
場所：月形町、長沼町、夕張市、栗山町、由仁町
概要：北海道中央バス(株)との連携により、そらち食の応援アンバサダーを務める佐藤麻美氏とともに秋期における南空知地域の魅力を体感するバスツアーを実施。
参加者：30名



- そらち・デ・オフ会 in 東京 2026の開催 [振興局]

開催日：令和8年2月28日（土）
場所：松尾ジンギスカン赤坂店@東京
概要：空知の知名度向上のため、首都圏の協議会SNSフォロワーに向けたオフ会を開催。
そらち食の応援アンバサダーを務める佐藤麻美氏とともに、空知の魅力を発信。
参加者：40名



評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	20,120人（R5）	28,850人（R7）	29,720人（R11）	97.1%
管内への観光入込客数	1,274万人（R5）	集計中（R7）	1,350万人（R11）	—%
移住相談件数	781件（R5）	集計中（R7）	919件（R11）	—%

R 8 年度の主な取組予定

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]
- 都市圏での移住促進イベントの開催 [振興局]
- 課題解決型FAMトリップの実施及びデジタルマップの作成による周遊促進 [振興局]

「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的

道内の中でも、特に厳しい人口減少が深刻化する空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進める。

また、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成や次世代リーダーの育成にも取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ 地元就職応援フェアの開催〔振興局〕

○地元企業合同説明会

開催日：①令和7年6月19日 ②6月25日

場 所：①奈井江町 ②岩見沢市

概 要：管内就職者の増加と職場定着に向け、選考前の高校生や就職指導教員等を対象に、企業説明会を実施。

企業数：①48社 ②48社

参加者：①生徒110名、教員11名 ②生徒92名、教員11名、保護者1名



■ 空知管内林業就職説明会の開催〔振興局〕

開催日：令和7年7月16日

場 所：岩見沢農業高等学校

概 要：岩見沢農業高等学校3年生を対象に林業事業体のマッチングの場として説明会を開催し、新規就業者確保を促進。

参加者：生徒11名



○空知地域企業見学バスツアー

開催日：令和7年10月20日、24日、31日

訪問企業数：9社

概 要：新規高卒就職者の早期離職の要因である仕事のミスマッチを未然に防ぐため、高校生、保護者や進路指導担当教諭を対象に地元企業見学会を開催。

参加高校：岩見沢緑陵、滝川工業、深川東、砂川、芦別、栗山、月形 計7校

参加者：生徒 計112名



■ バス運転体験・就職相談会inそらちの開催〔振興局〕

開催日：令和8年3月8日

場 所：砂川自動車学校

概 要：バス運転手の人材確保を目的に退職間近の自衛官を対象としたバス運転体験・就職相談会を開催。

事業者：空知中央バス、夕張鉄道

参加者：26名



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率	52.0% (R5)	54.2% (R7)	63.9% (R11)	84.8%
保育所等入所待機児童数	3人 (R6)	7人 (R7)	0人 (R11)	0.0%

R8年度の主な取組予定

■ 地元企業合同説明会・空知地域企業見学バスツアーの開催〔振興局、市町〕

■ 採用力強化セミナーの開催〔振興局〕

■ バス運転体験・就職相談会の開催〔振興局〕

評価指標（KPI）一覧

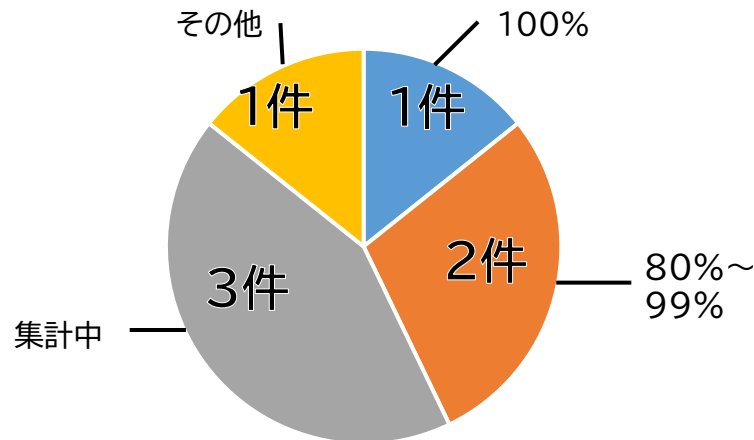
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7 （実績年）	R8 （実績年）	R9 （実績年）	R10 （実績年）	R11 （実績年）	目標値 （目標年）	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町への 観光入込客数	16,427千人 （R5）	17,241千人 （R6）	集計中 （7月頃） （R7）				16,920千人 （R11）	—%
一次産業の未来を広げる 産業振興プロジェクト	空知の耕作面積の維持	113,500ha （R5）	113,500ha （R6）	113,500ha （R7）				113,500ha （R11）	100.0%
「空知」の魅力発信・ 誘客促進プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」 公式SNSのフォロワー数	20,120人 （R5）	28,672人 （R6）	28,850人 （R7）				29,720人 （R11）	97.1%
	管内への観光入込客数	1,274万人 （R5）	1,340万人 （R6）	集計中 （7月頃） （R7）				1,350万 人 （R11）	—%
	移住相談件数	781件 （R5）	704件 （R6）	集計中 （8月頃） （R7）				919件 （R11）	—%
「空知」に関わりを持つ 人材創出プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率	52.0% （R5）	53.0% （R6）	54.2% （R7）				63.9% （R11）	84.8%
	保育所等入所待機児童数	3人 （R6）	3人 （R6）	7人 （R7）				0人 （R11）	0.0%

評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向

- 7件の評価指標のうち、現在集計中（3件）を除いた3件の進捗率が80%を超えており、このうち1件は既に目標値を達成している。
- 空知地域の耕作面積は、令和4年度以降、現状を維持している状況であり、背景には複数の要因が考えられるが、スマート農業の導入や省力化機械の普及もその一因と考えられる。
- 新規高卒者管内企業就職率は、昨年度に比べて1.2%増加しており、一定の改善が見られるが、一方で、引き続き地元定着を図るためには、魅力発信はもとより、企業や学校との連携強化など、地元就職を促進する取組の継続・強化が必要である。
- 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、令和5年度の基準値と比較して約8千7百人増加しており、情報発信力の向上とともに、関係人口の創出に向けた施策の効果が大きく現れているものと考えられる。
- 令和8年度は、新たに策定した道央広域連携地域政策展開方針に基づき、市町や関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向けて取組を進めていく。

評価指標全体の進捗率



R 8 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）①

事業名	概 要	主な関連プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携加速化事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・石狩・後志・胆振の4地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出を目指す。	③
空知地域公共交通維持・確保推進事業	管内のバス路線においては、利用者の減少や運転手不足に伴う減便が相次いでいることから、「北・中・南空知地域公共交通計画」を踏まえ、関係団体や事業者等と連携しながら、運転手人材の確保や輸送資源の効率化に向けた取組を実施し、持続可能な交通体系の構築を推進する。	④
目指せ「空知人」！移住・定住推進事業	管内の移住者の増加及び定着に向けて、道外での移住PRをはじめ、市町の地域おこし協力隊員募集及び定住に係る支援を行う。	③
空知の農業・農村未来づくり事業	地域の重要な基幹産業である「農業」において、農業資源・人材・技術を活用しながら、環境と調和し安心・安全で良質な農産物の生産を推進することで、多様性のある空知農業を目指す。	②③④
空知地域産業人材確保対策事業	地元企業合同説明会や企業見学バスツアーの実施により、新規学卒者など若者の人材確保や早期離職の防止に取り組むとともに、管内の企業に対し採用力強化セミナーを開催し良質で安定的な正社員の人材確保と職場定着を図る。	④

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 8 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
空知ワイン産地化推進事業	管内飲食事業者及び一般消費者の空知ワインに対する認識を深めることでワイン産地化を推進し、ワイン産業と他産業の連携による空知ワインと食を核とした地域振興を図る。	②③
空知アドベンチャー トラベル推進事業	空知管内の多様な食、観光資源の魅力をアドベンチャートラベルを切り口に情報発信し、マイクロ ツーリズムを一層推進する。	③

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

令和7年度地域づくり総合交付金における主な支援

事業名	事業概要	道交付額 (単位：千円)	主な関連 プロジェクト
トマト選果機導入事業 (栗山町)	水田農業の転作作物であるトマトの生産の定着を図るため、高性能な選果機を導入し、選果機能を向上させる。	10,000	②
デジタルを活用した多様な働き方推進事業 (長沼町)	①ワーケーション等の体験・誘致、②ワーケーション実施企業によるイベントの開催、③子育て世帯等へのリスクリング、④創業塾の開催等、関係人口や事業の創出・地域経済の活性化を図る。	2,800	③、④
キッズジョブコレクション (岩見沢商工会議所青年部)	市内在住の子どもたちに地元の企業の仕事を実際に体験してもらうことにより、地元企業への理解と就職を促進する。	300	④
ICT活用地域コミュニティ環境整備事業 (歌志内市)	地域のコミュニティをデジタルで創出するため、タブレットを活用した高齢者の見守り活動や地域・防災情報の発信等のシステムを構築する。	4,000	④

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト